

香石菴の志

79
535
5.



門 78
歳 585
巻 5

香道
秋志光

附録香志



香道福表之序

香道福表之序
折小ゆき何れはわづれなるゆえ
くくや琴詩酒の三れもの世
ゆるく面白き事わがさりと成るじ
ちるはあれど時乃宜しむるはる
かりぬもあつと香の道れまはる
雪月花の時式ハ獨りあり式ハ客あり

香道福表之序

又女童の歌いふも興のつゝあつて
皆あつて終つれ物よつとつと
らふおろし大枝氏の何ぐとそ
侍ら人れうらうと集をたゆり
を推つ本つら終と開あつ始
香道よ用へと調度をくへと
又中古よりして名あつ組番
ね

新の奇やち組番たが紙さ
わつていし海とほみ唐れ
新もつらうと考へ出つり
了耽子人の為をうらま
至くぬし其書を急はま
道秋乃光とつらつら
みらうと名あつ御家り

香道

二

香道和の巻本
一
うたふらふとぞとてはくごりやうごふら
うらぬはくし題とらぬし予と序
してんしは請ふは我及び可ぬ
わらばとわく辞しけりも終と
終らさすうでらぬとて先もあ
まにゆとがはくながく彼電乃
上は野の林と見えし菊や秋風

うらぬはくし題とらぬし予と序
してんしは請ふは我及び可ぬ
わらばとわく辞しけりも終と
終らさすうでらぬとて先もあ
まにゆとがはくながく彼電乃
上は野の林と見えし菊や秋風

野袖素雲堂

吟阿

香道和の巻本

三

[Faint, illegible handwritten text, likely bleed-through from the reverse side]

凡例

一 凡香道は用ゆるもの調度は多し
 つゞも爰に圖を七種に具は
 より用ゆるもの要具ありて欠るる
 べからざる也世上流布するもの具は
 志野米川に二流の形のみならず今此
 書著とす此道は中んぶるに
 のはを併く圖し其よりすはを

香道次第の凡例

圖して袖公れ人又い遠き國の人までも
此具を求む作ら便くする考也

一 組香の立物及盤の圖多々公のころり
是又求む作ら人れある便と

一 組香古くより志移家多し用いある
十組ハ十燈香 花月香 小倉香

宇治山香 郭公香 系圖香 小草
香 燒合香 漁平香 鳥合香也

此考い先よ世小ゆりり香道秘傳及十
燈香の記多々入りたるに今爰よ著
さん又米川家の十組ハ大く十組の中
有合香郭公香 漁平香れらんと除
きく名取香矢板香 競馬香のころ
を入り此三組も世よ多く入る事
されば又此書よめりしゆ
一 始よ著と京の十組ハ中老れ人の組

香道秘傳

二

をけり名高く面向と紐を撰ひのせ
 玉次よあつと紐香の進比今乃紐
 とるふ紙集て余が紐の香の紙
 臨新十紐とてこれを載り紙書
 乃後篇一香道と故実及新紐
 を著して進の梓よゆりしとる侍
 一巻末よいそりありの書よ載り不乃
 香木の出所香道よ用ふ調文と名

本源を考へ香志と号し漢土よりも
 此聚ひあつれ趣を著して好事人
 のるふ條然子が集りものを附と

享保壬子歲五月中浣

大枝流芳誌之



香道和歌集

三

香道秋表之上

香道秋表之上

目錄

上卷

香道具之物盤之圖

中卷

中古組十品

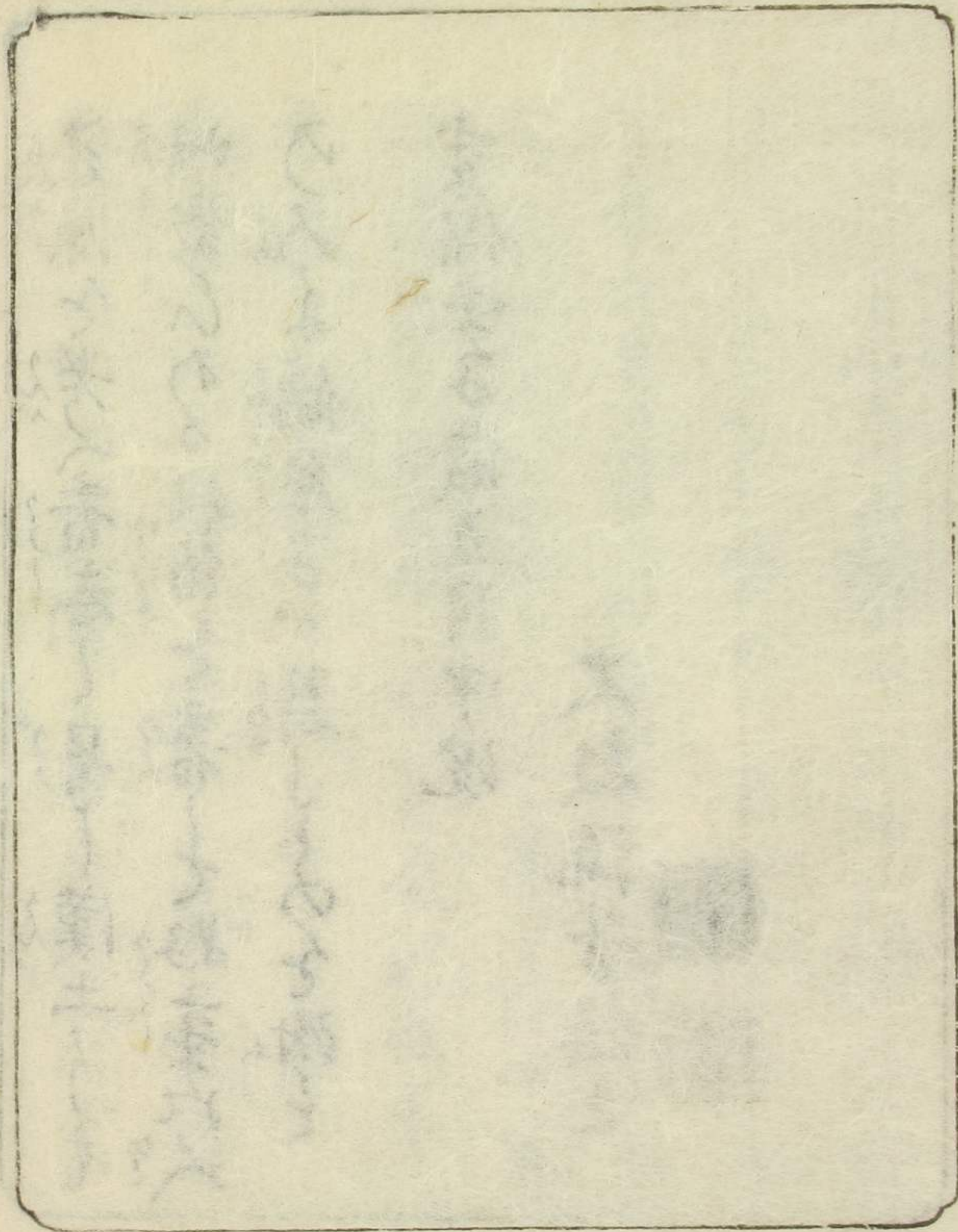
花軍香

吳越香

古今香

三夕香

香道秋表之上



蹴鞠香
六儀香
刺雞香

寔香
星合香
燒合花月香

下卷

新組十品

根合香

随蝶香

巢立香

初音香

新玉川香

篇空香

曲水香
玉杉香

閑守香
子日香

附録

香志一卷

續編千代表秋目録

全部四冊
遊方令梓行

一 中古より有る組香熱目録

一 志野相くかざりの圖説

一 香えのぼりはちの圖

一香諸道具之名目

一六國之香乃事并十徳

一香道宗匠

一香席け度事

一香道二十二ヶ條之目録

一名系紙徳中

新組香三十品

富士香 撰蟲香 鷹狩香

二曙香

螢香

賭弓香

定考香

初雪香

花守香

讀舞樂香

紅葉香

小倉香

拾貝香

扇合香

浦合香

忍音香

長壽香

園草香

新園雜香

投壺香

鴛鴦香

八橋香

句集香

難波名物香

新花月香

詩句香

花名所香

香道新法要目録

三

金^{きん}鯉^り香^か

音^{おん}信^{しん}香^か

羽^う衣^い香^か

目錄終

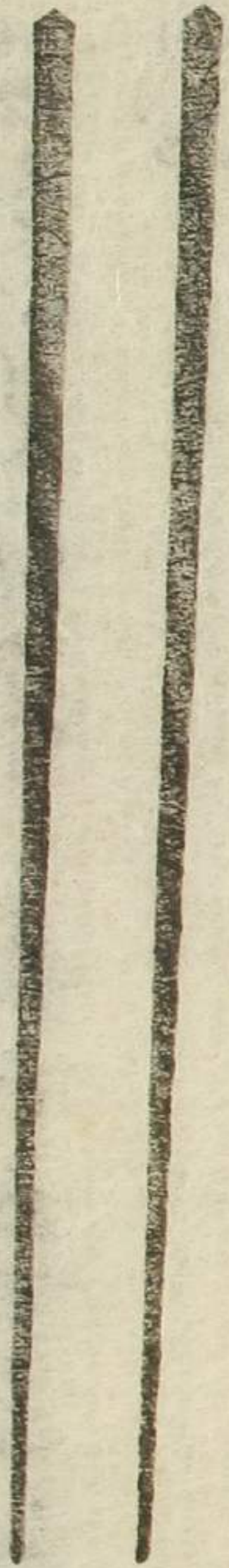
香道秋卷之上

大^{だい}口^{くち}含^{くわ}翠^{すい}先^{せん}生^{せい}門^{もん}人^{にん}

大^{だい}枝^し流^{りゅう}芳^{ほう}著^{しやく}

香^{かう}道^{どう}具^ぐ立^た物^{もの}之^の圖^づ

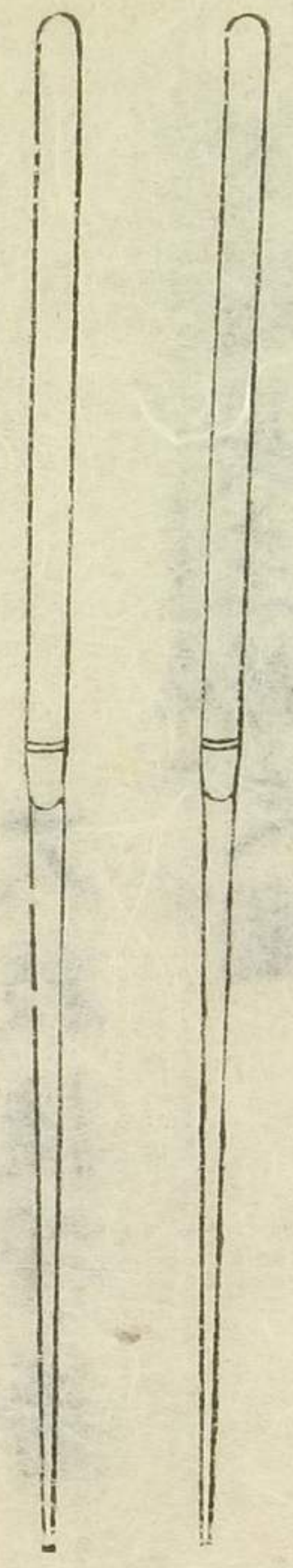
香^{かう}筋^{しん}之^の圖^づ



香道秋卷之上

烏木を以て作る。長五寸五分
 圖の如し

火鉋之圖



惣長五寸柄二寸七分穂二寸三分

金銀等以て作る柄の紫檀或は
 烏木を以て作る

香鉋之圖

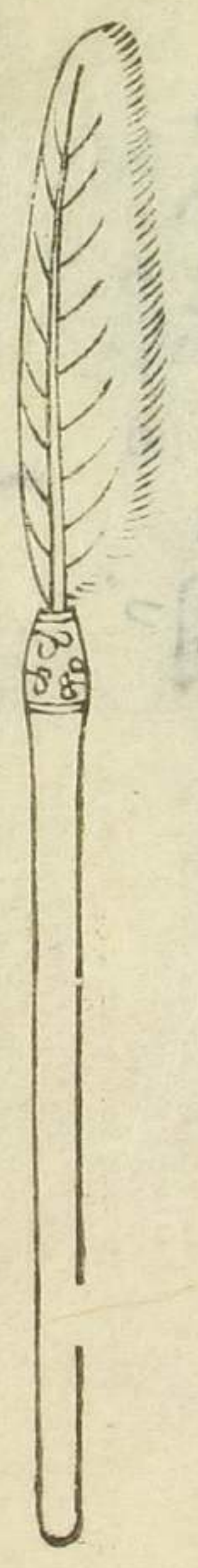


長三寸五分金銀等以て作る面

香鉋之圖

銀と赤洞を以て半ばよりよりしき
物とすは志神流よりし

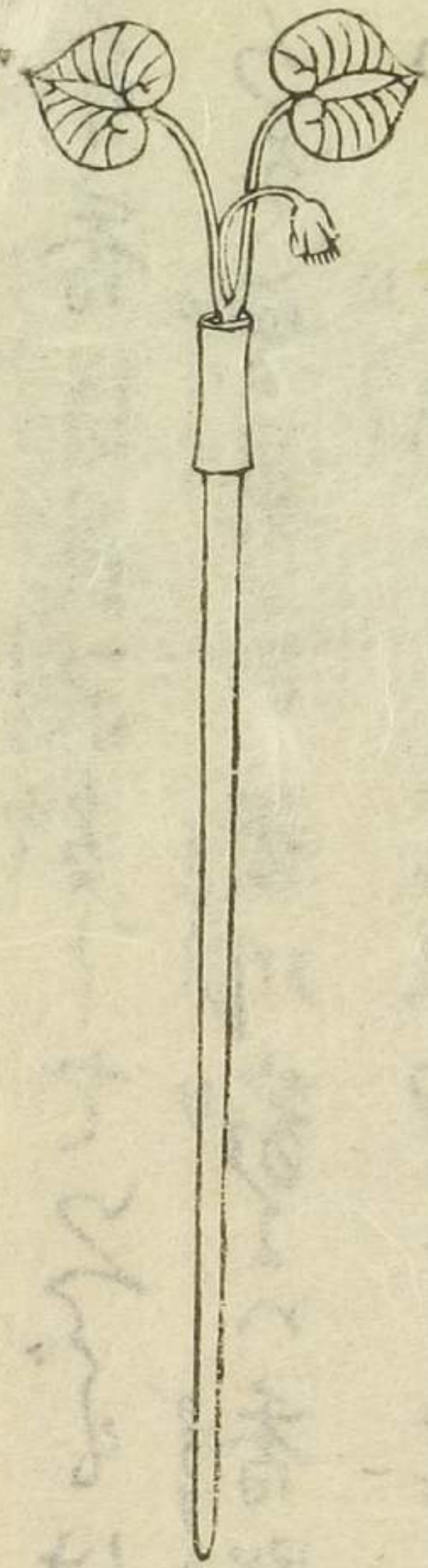
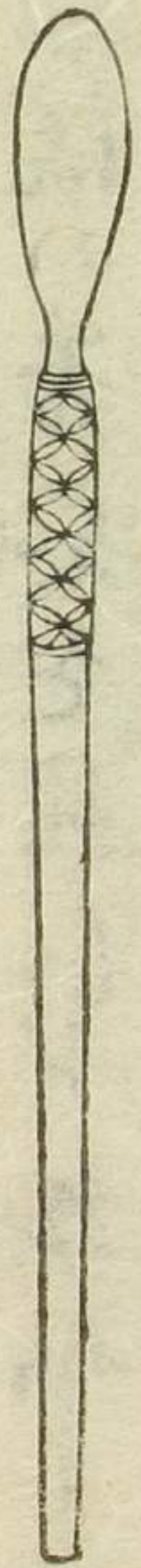
羽帚之圖



すはくしり志神流よりし

此の香道具は多しやうもけ
七つを要具とて米川家より香匙
を以て火味より七つれるとあり
南流の香匙を用いど能くも銀香
かどのおりの便よれを以て用りも又
くねりしはもと七つれるとあり
名目い南流よりありて事なりとて

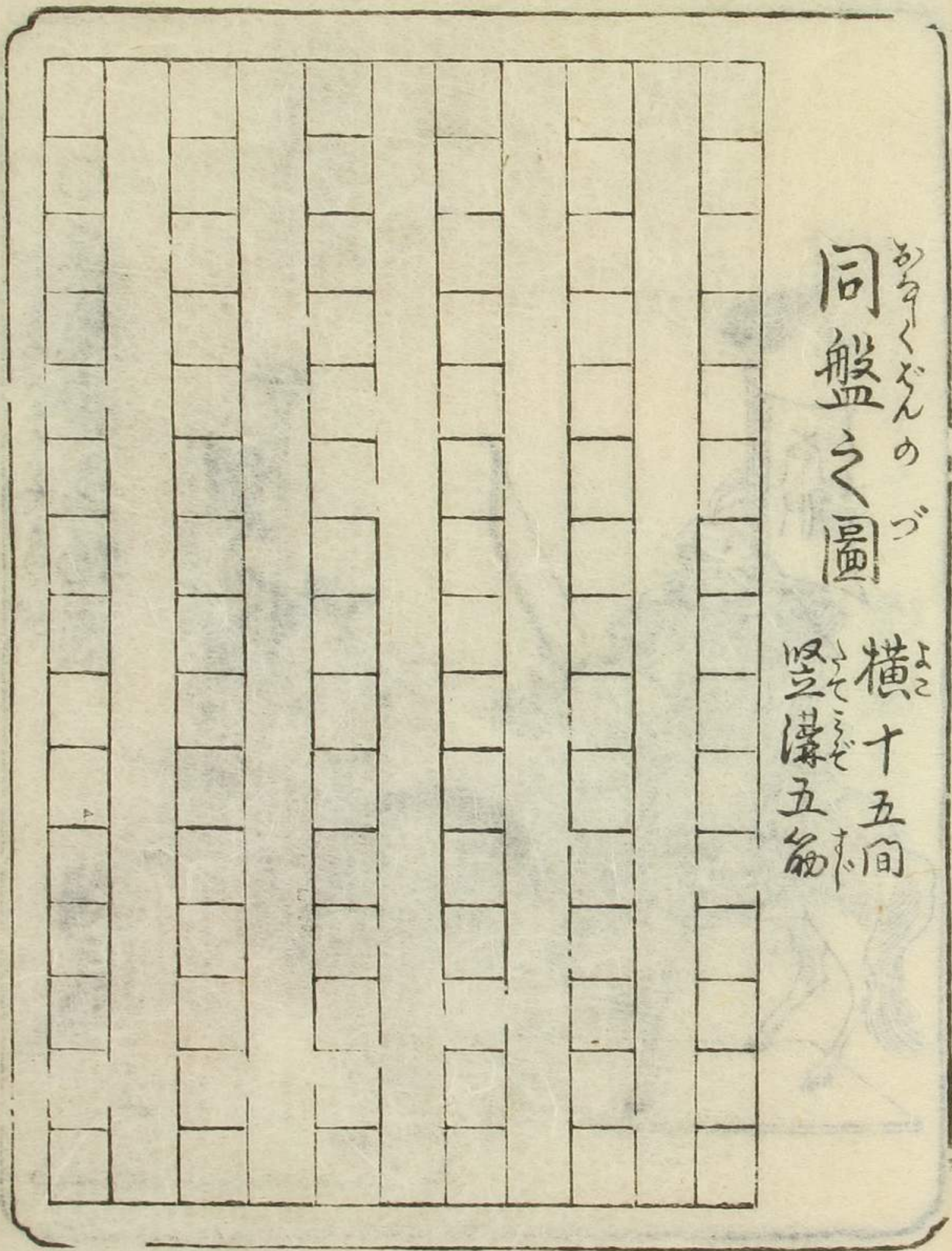
香匙之圖



すは米川流よちるふべー

同盤之圖

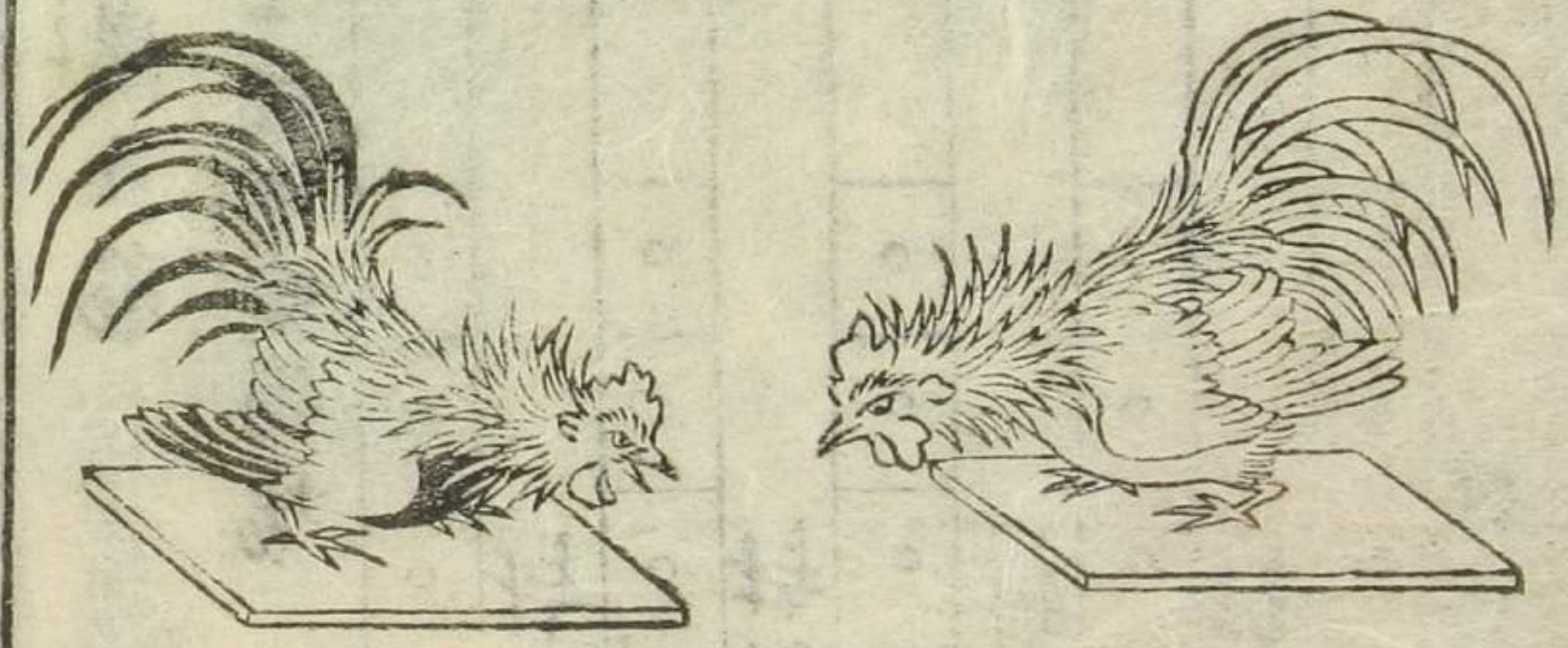
横十五間
縦五筋



○厨雞香立物圖

雞白五羽

同赤五羽



○花軍香立物圖

玄宗人形
一ツ

揚貴人形
一ツ



官女^{くわにょ}人^{ひと}形^{かたち}

八人

去宗^{けそう}方^{かた}四人^{よにん}梅折枝^{うめざし}持^{もち}

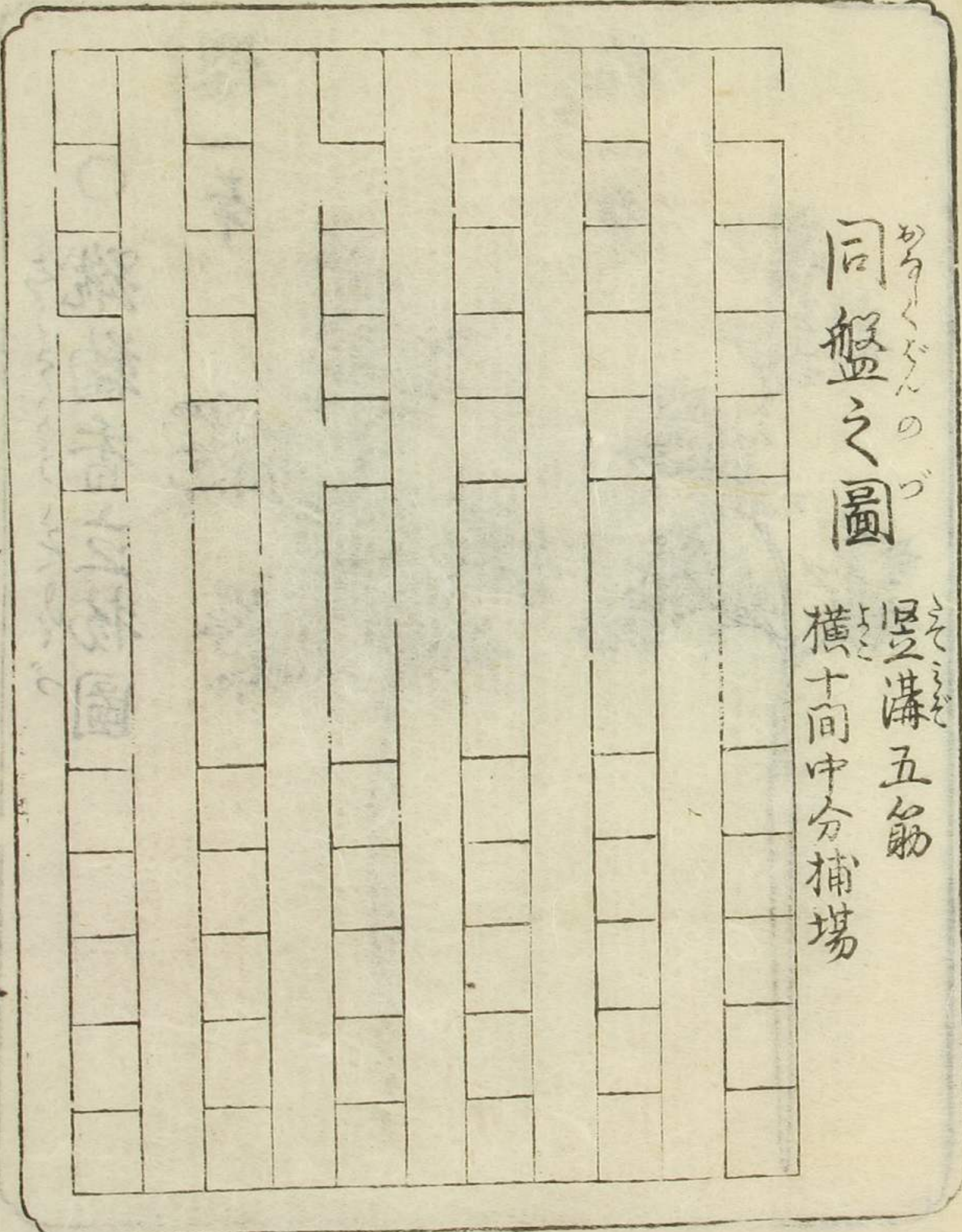


貴妃^{きひ}方^{かた}四人^{よにん}梅折枝^{うめざし}持^{もち}



同盤^{どうばん}之^の圖^ず

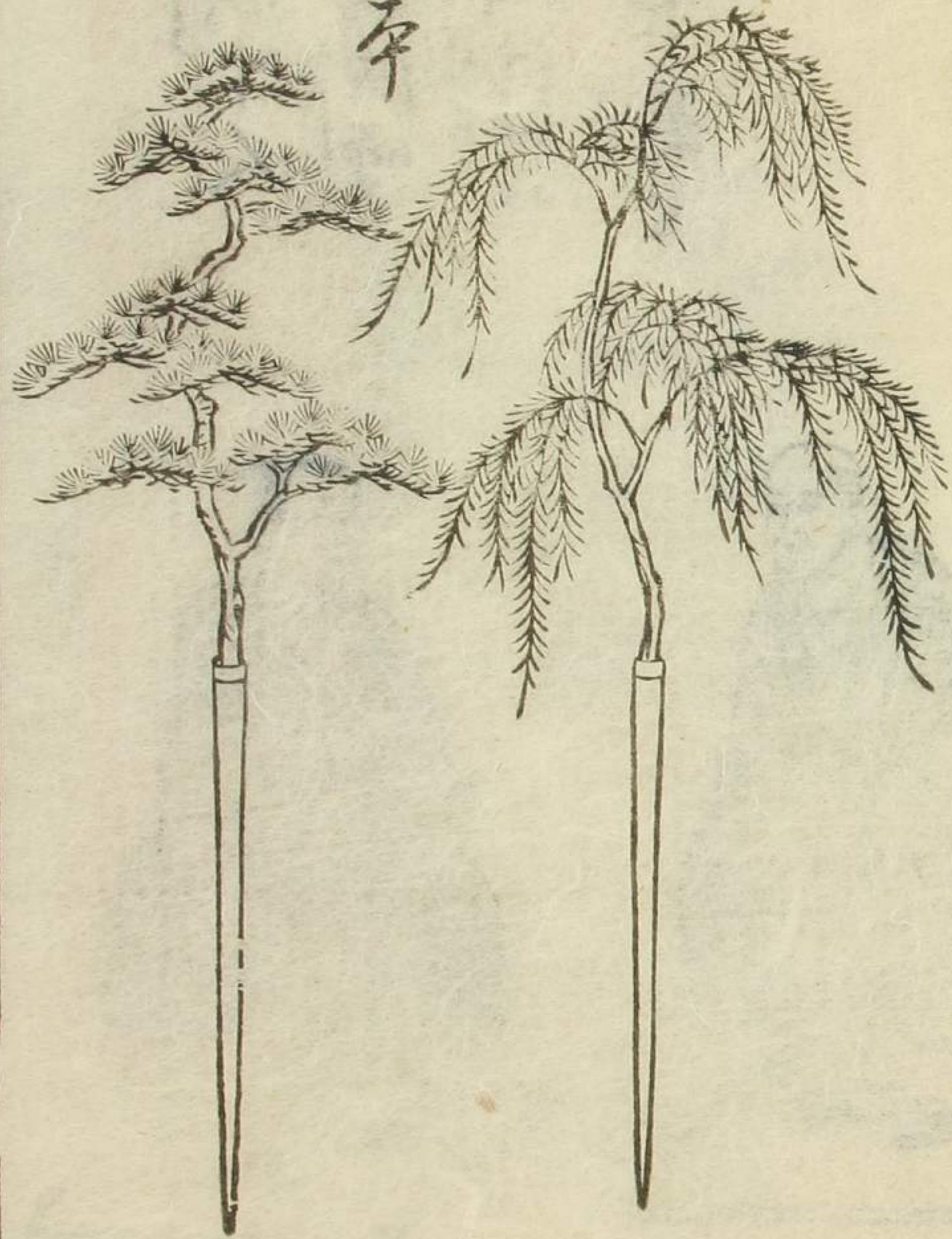
豎溝^{たてこう}五筋^{ごすぢ}
横十間中分捕場



音道^{ねだう}大^{おほ}乃^の是^{こゝ}上^{かみ}

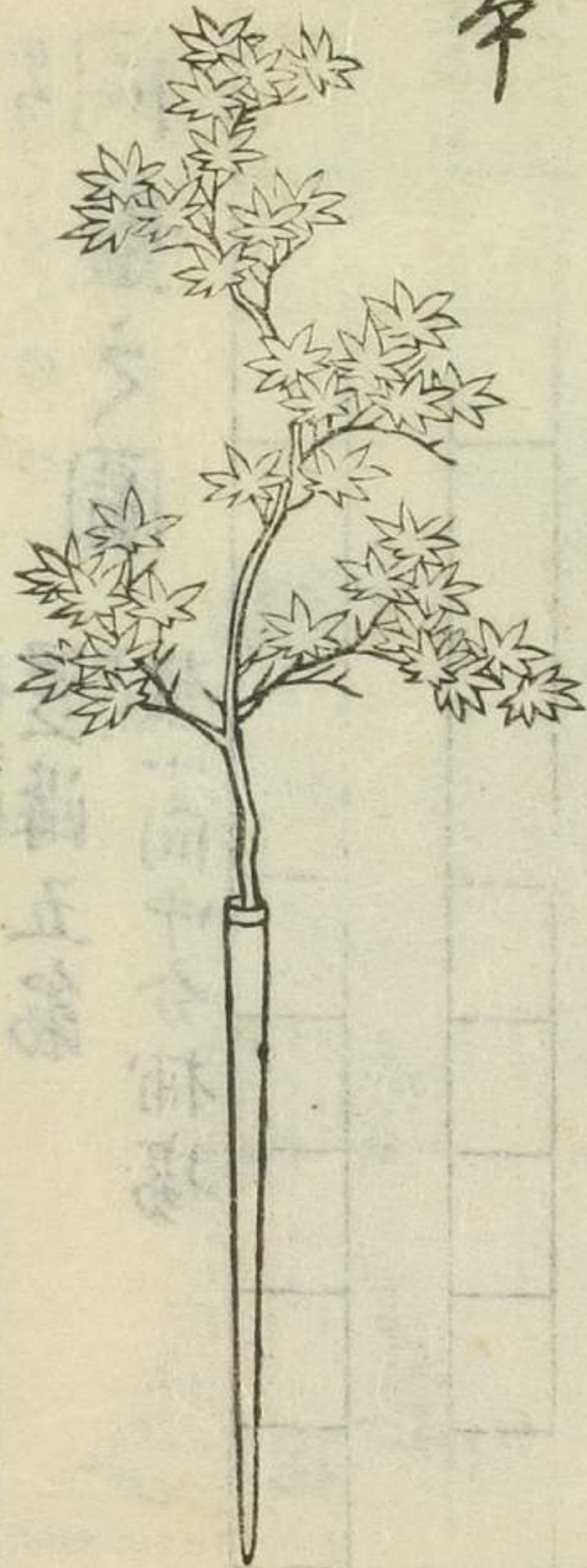
松竹梅

松
一本

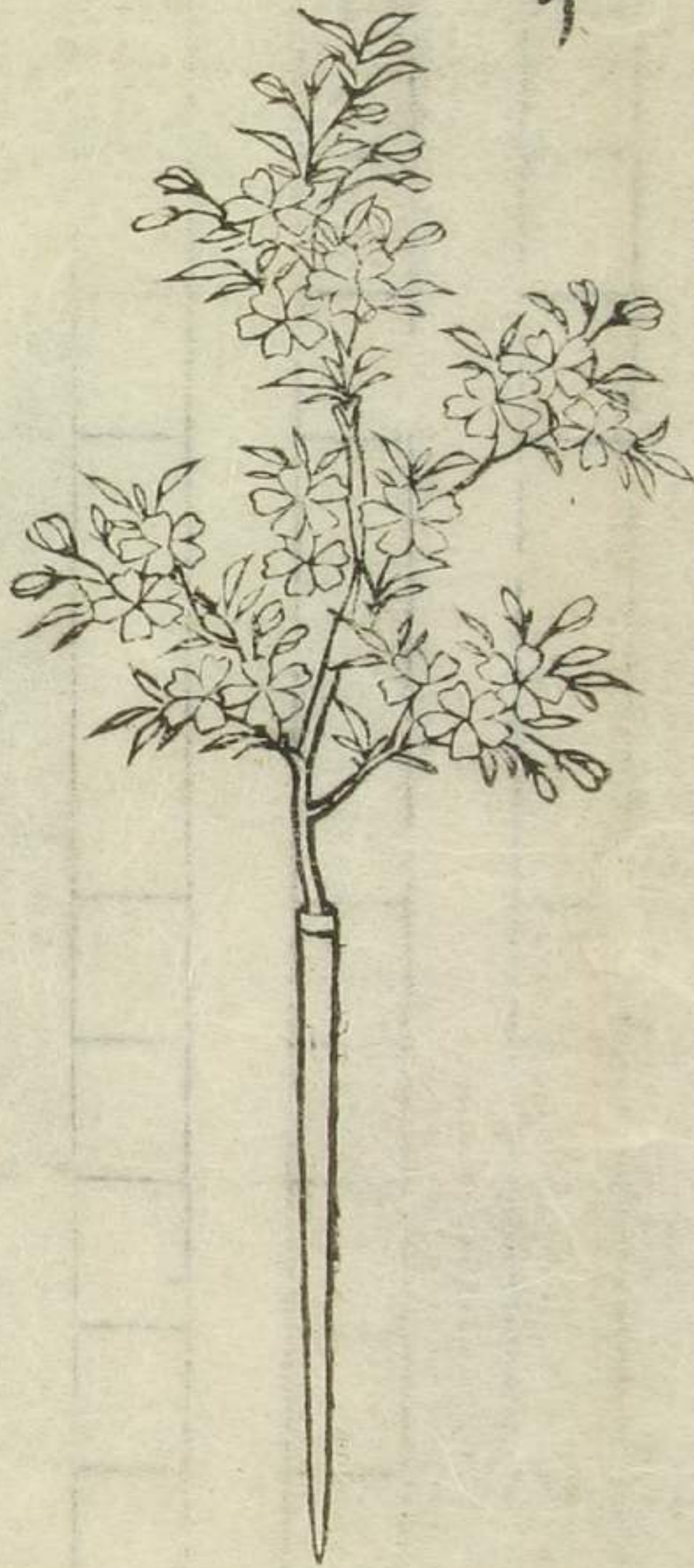


柳
一本

桤
一本



櫻
一本



○ 蹴鞠香立物圖

蹴鞠香立物

香道火の巻上



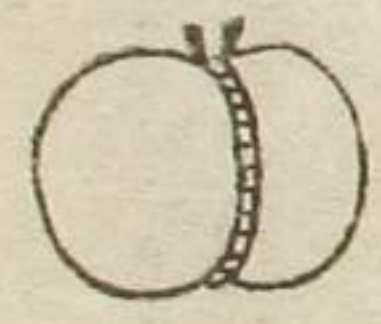
烏帽子



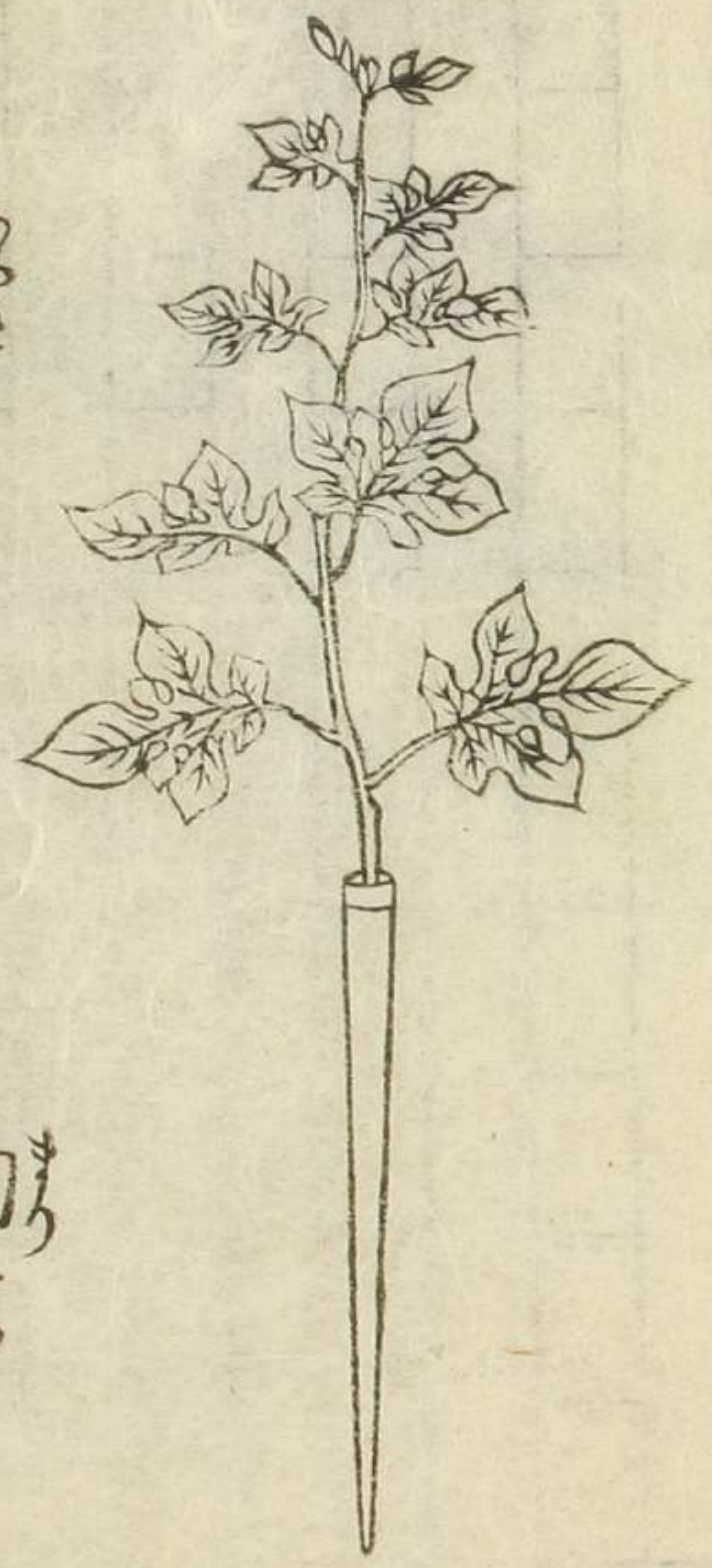
扇十本



燕尾



鞠一ツ



梶本一本 表ハナリ

人形十人
公家法師
俗人法師ハ
燕尾と着と



香道火の巻上

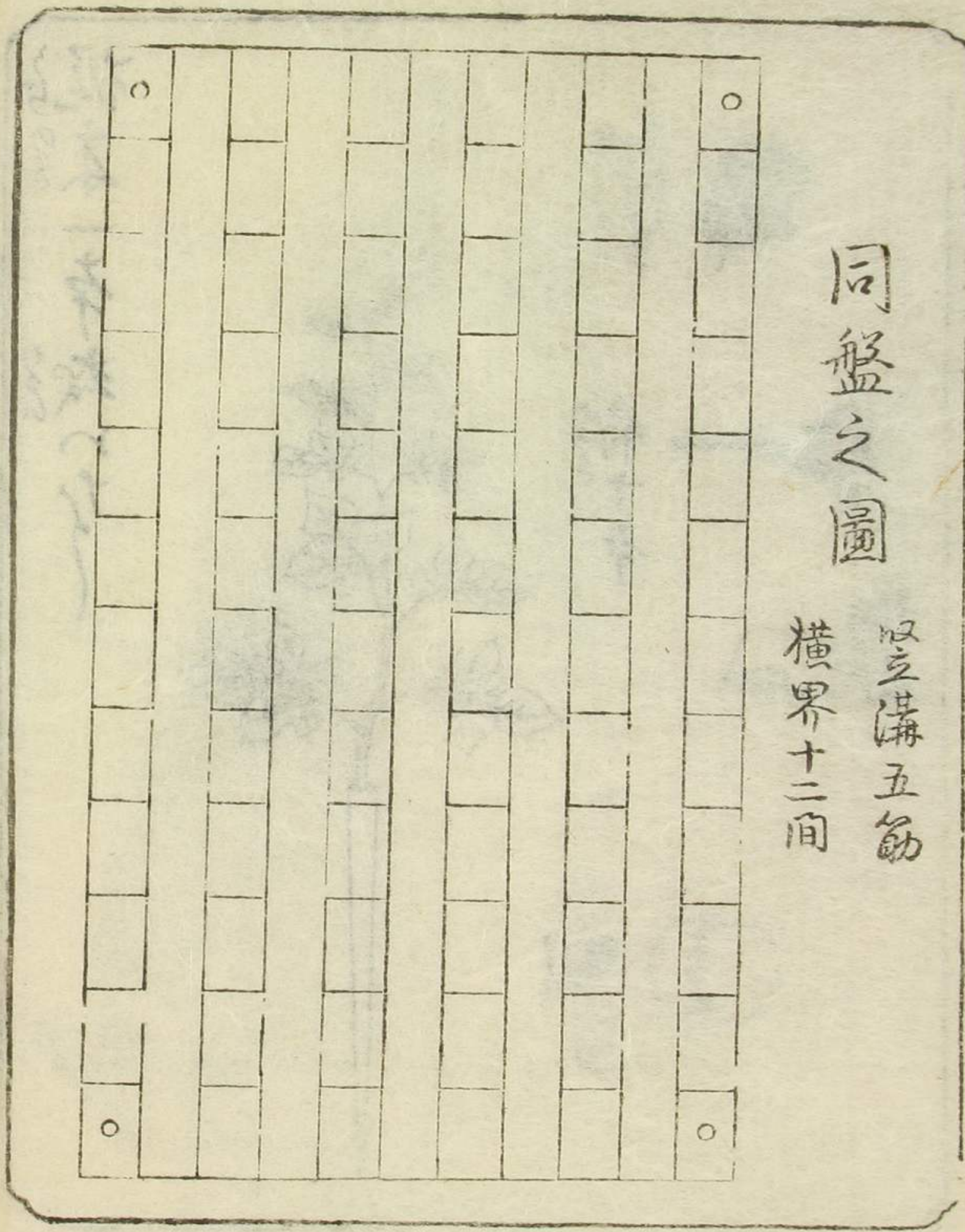


神五本

松五本

○六儀香立物圖

六儀香立物圖



同盤之圖

以立溝五筋
横界十二間

碁盤之圖

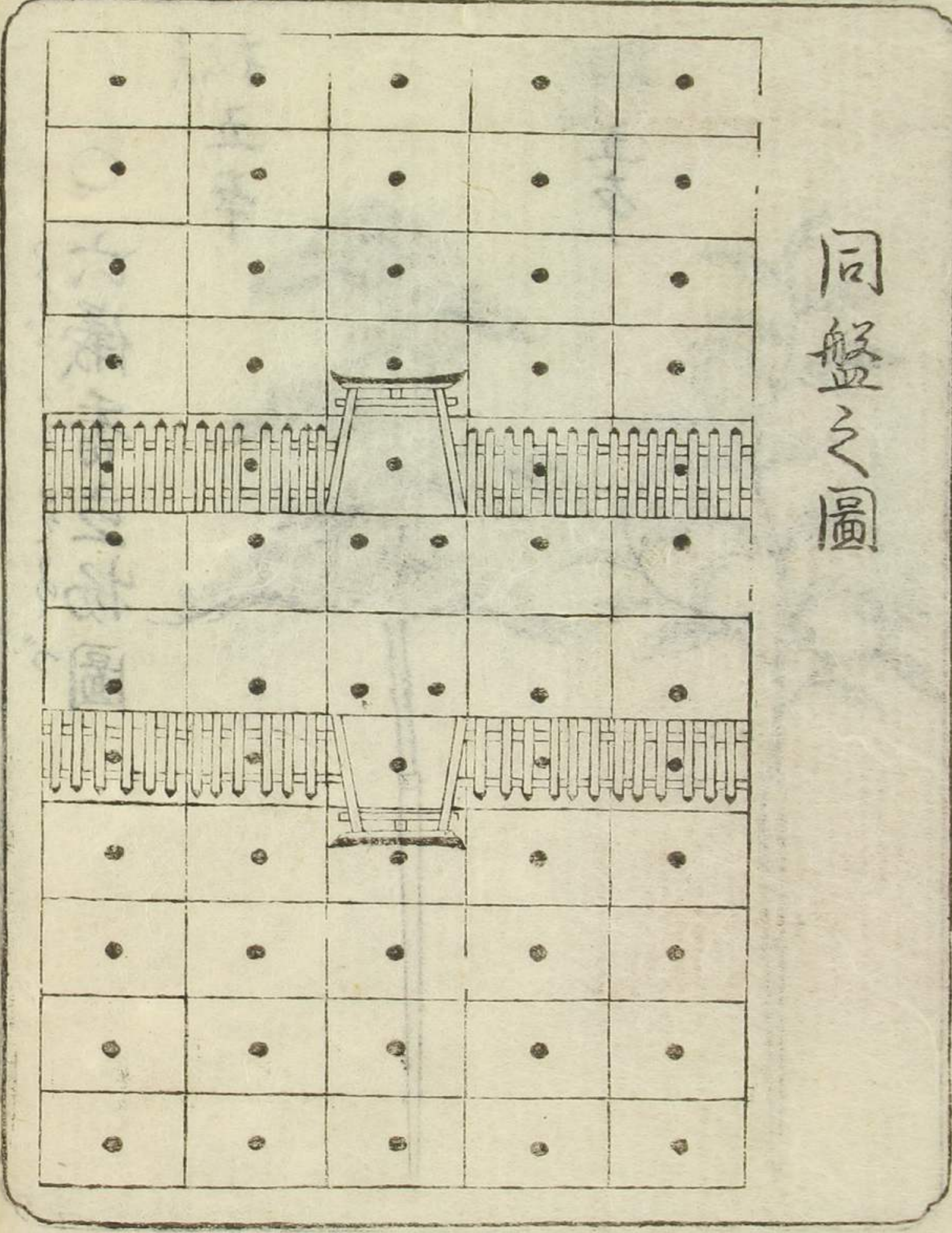


あや紫花五本

あや白花五本

○根合香立物圖

業五十



同盤之圖

あや紫花五本

業五

あや白花五本

業五

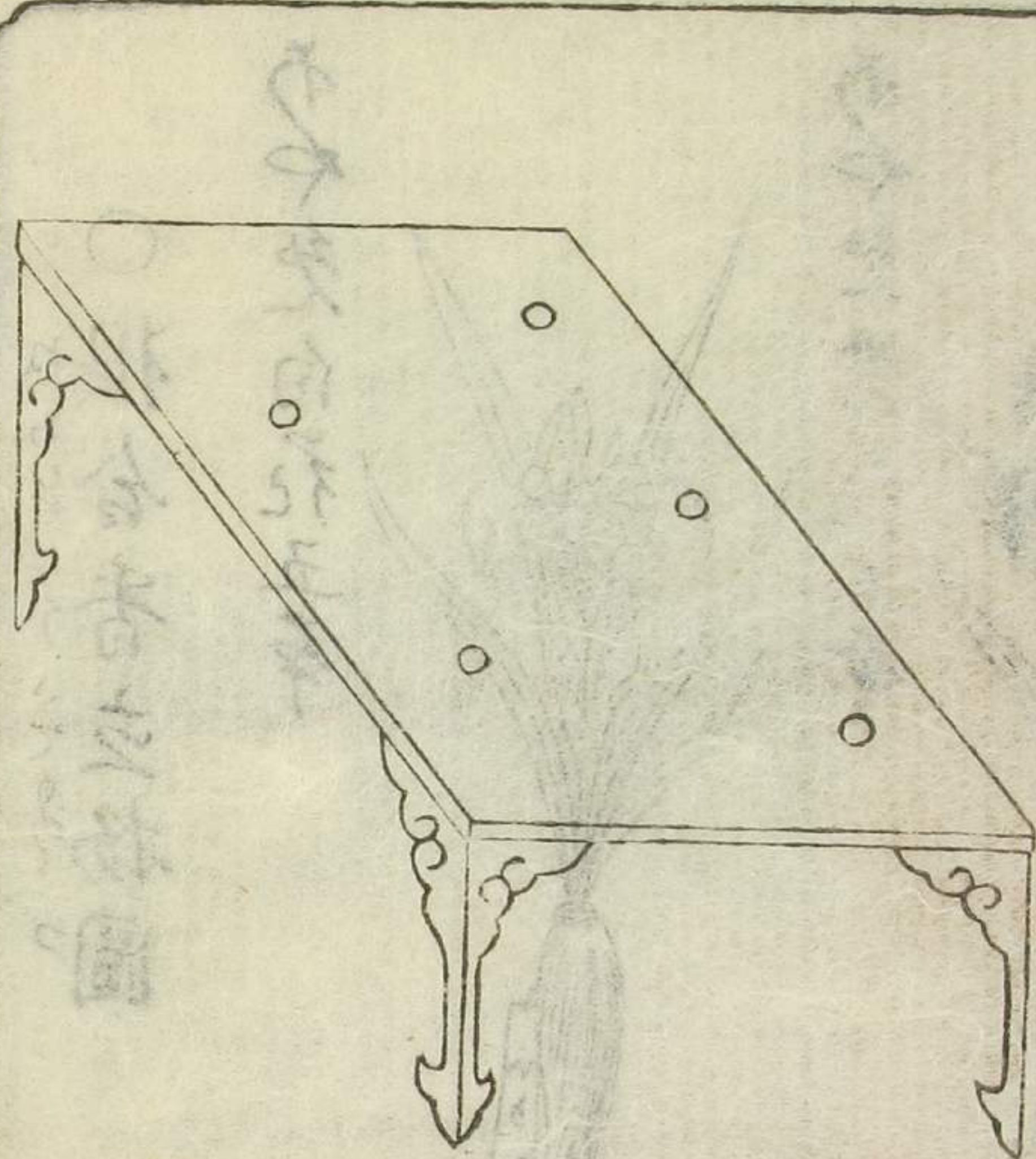


餽物之圖

洲濱ニツ

木下

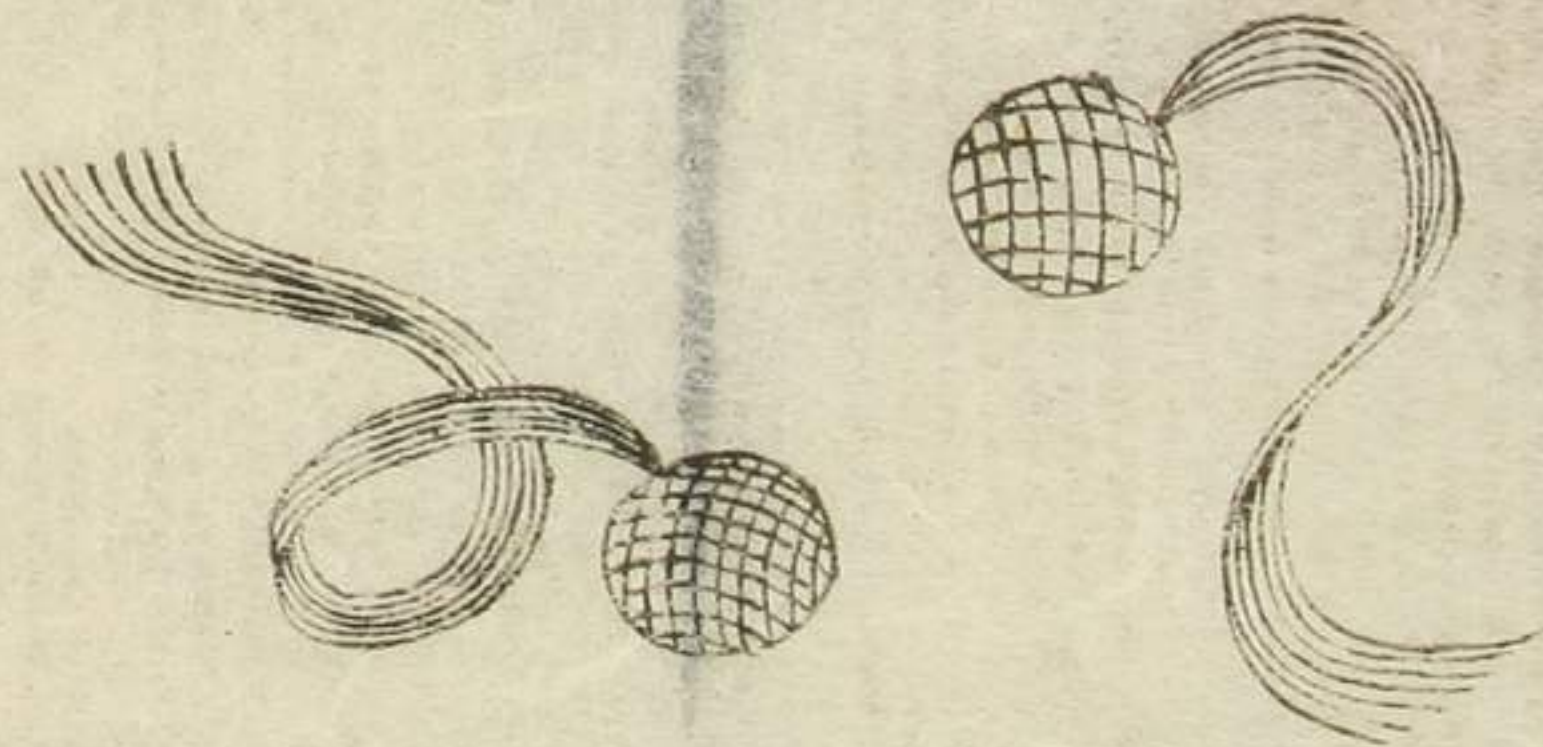
三



文臺之圖 二脚

薬玉之圖

糸玉十



木下

三

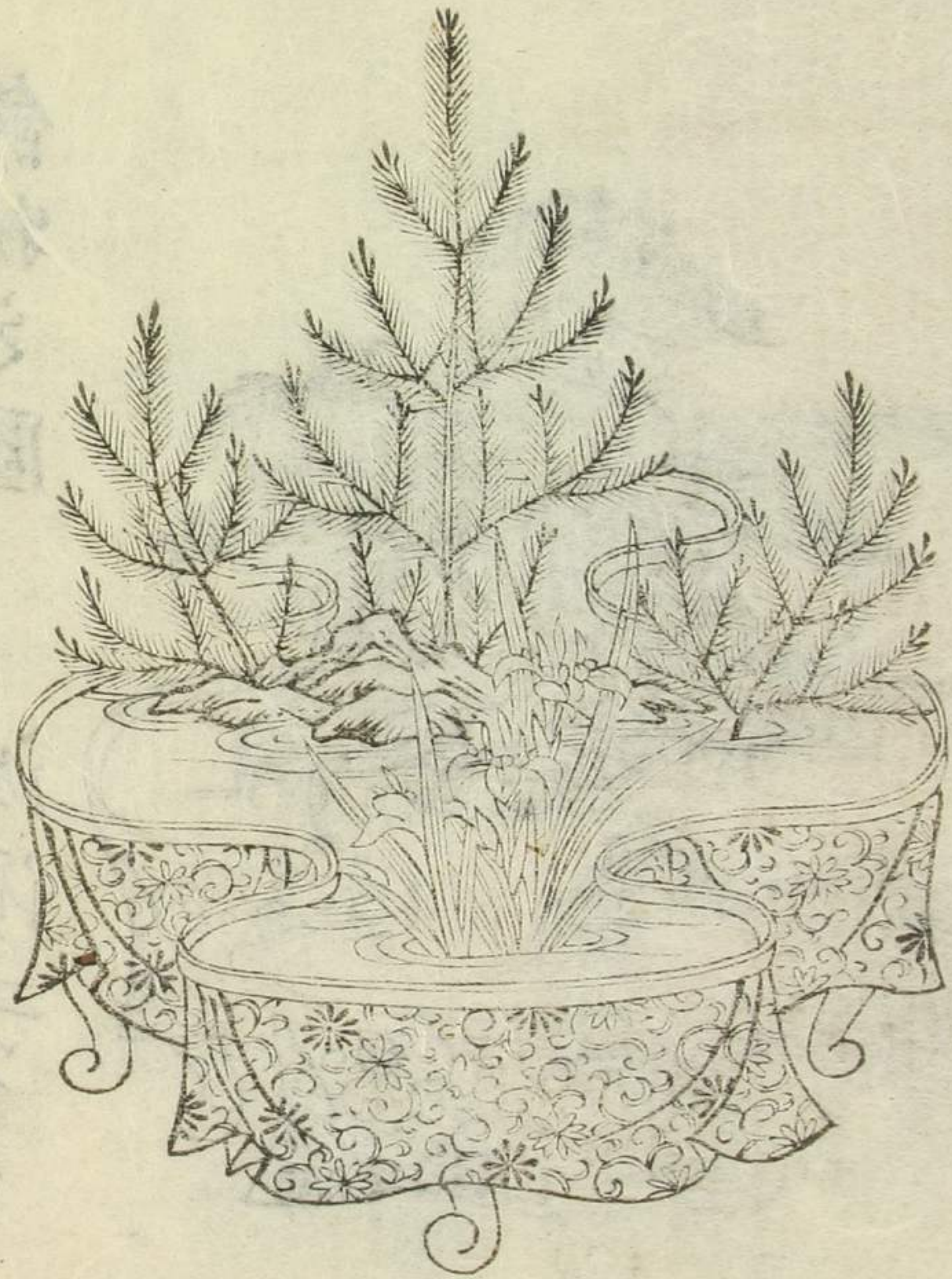
詩道秋乃院上

○	○	○	○	○
○	○	○	○	○
○	○	○	○	○
○	○	○	○	○
○	○	○	○	○
○	○	○	○	○
<p>一 女 子 十 二 間 中 勝 負 之 場 也</p>				
<p>女 子 十 二 間 中 勝 負 之 場 也</p>				
○	○	○	○	○
○	○	○	○	○
○	○	○	○	○
○	○	○	○	○
○	○	○	○	○
○	○	○	○	○
○	○	○	○	○

同盤之圖

横十二間中勝負之場也

古



詩道秋乃院上

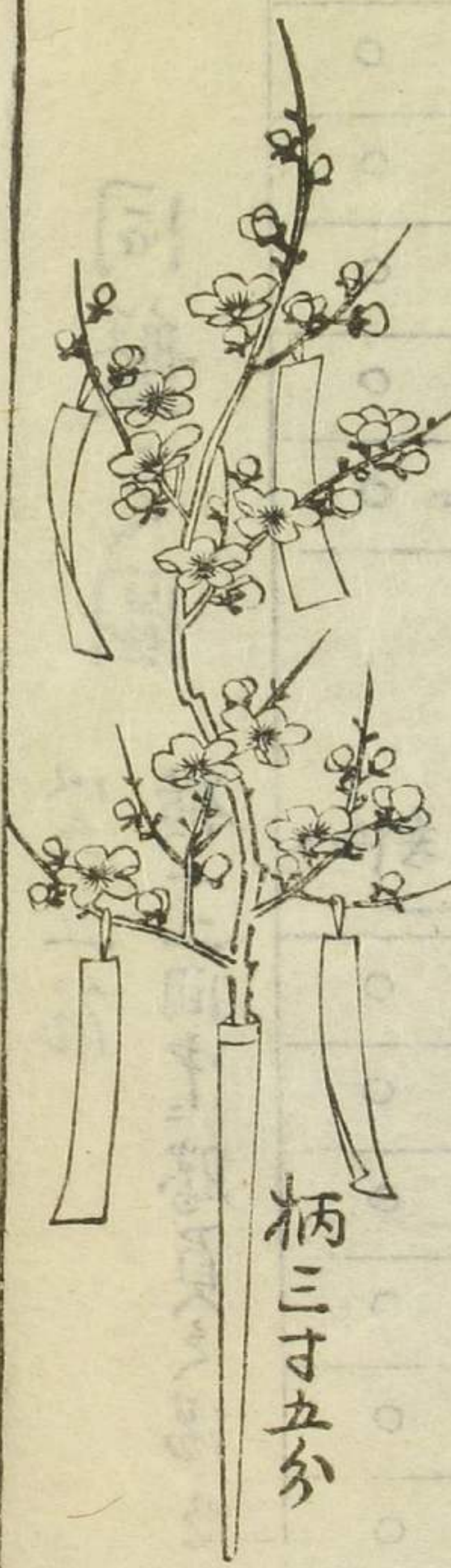
古

○ 初音香立物圖
 梅紅白二本 惣長九寸五分



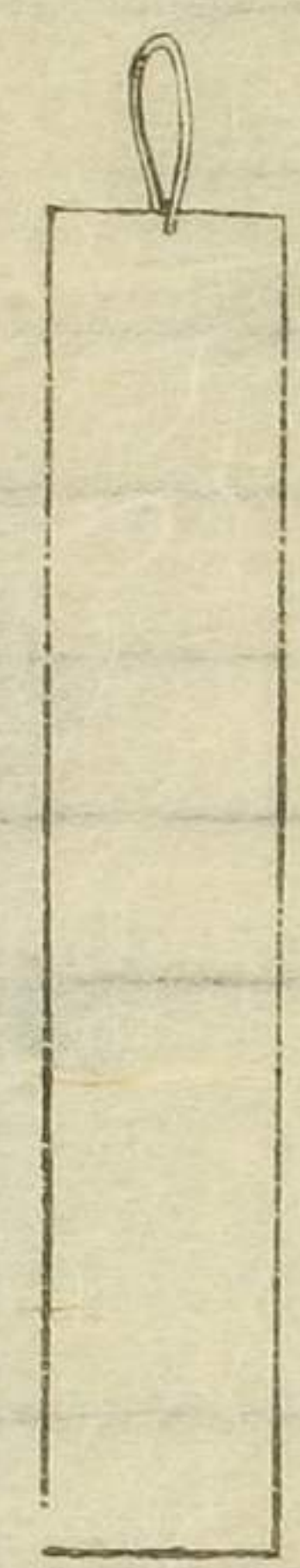
柄三寸五分

同二本短冊 梅上寸五分 惣長九寸五分



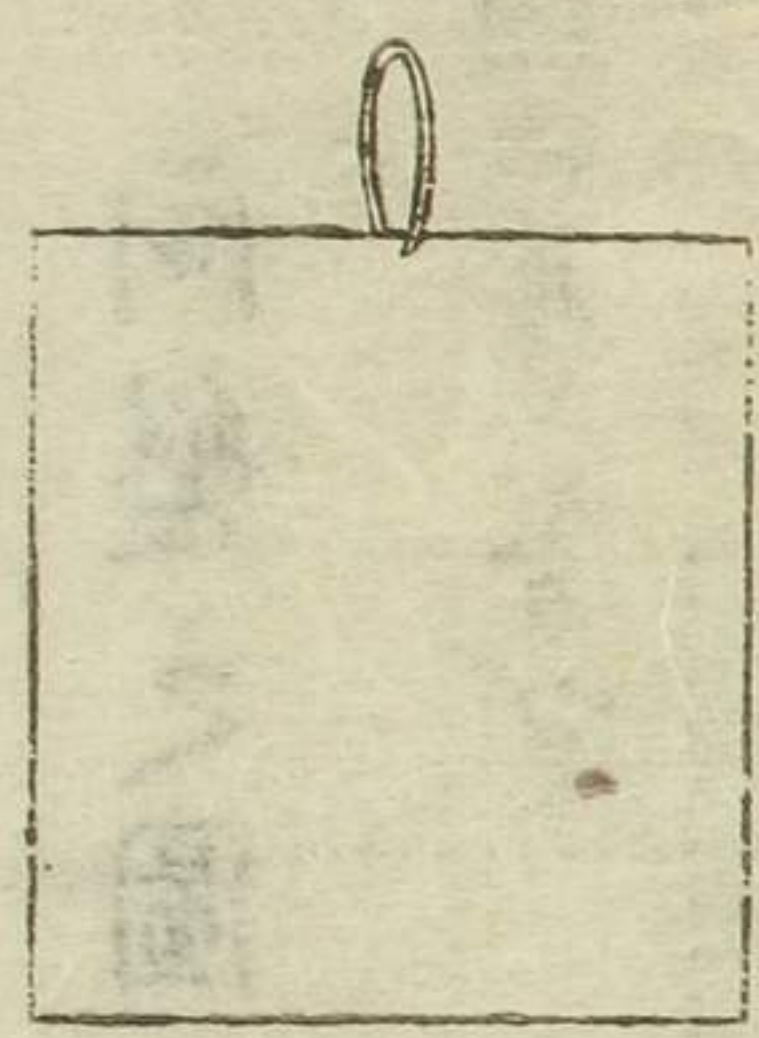
柄三寸五分

短冊 長二寸四分 幅四分



鶯二羽

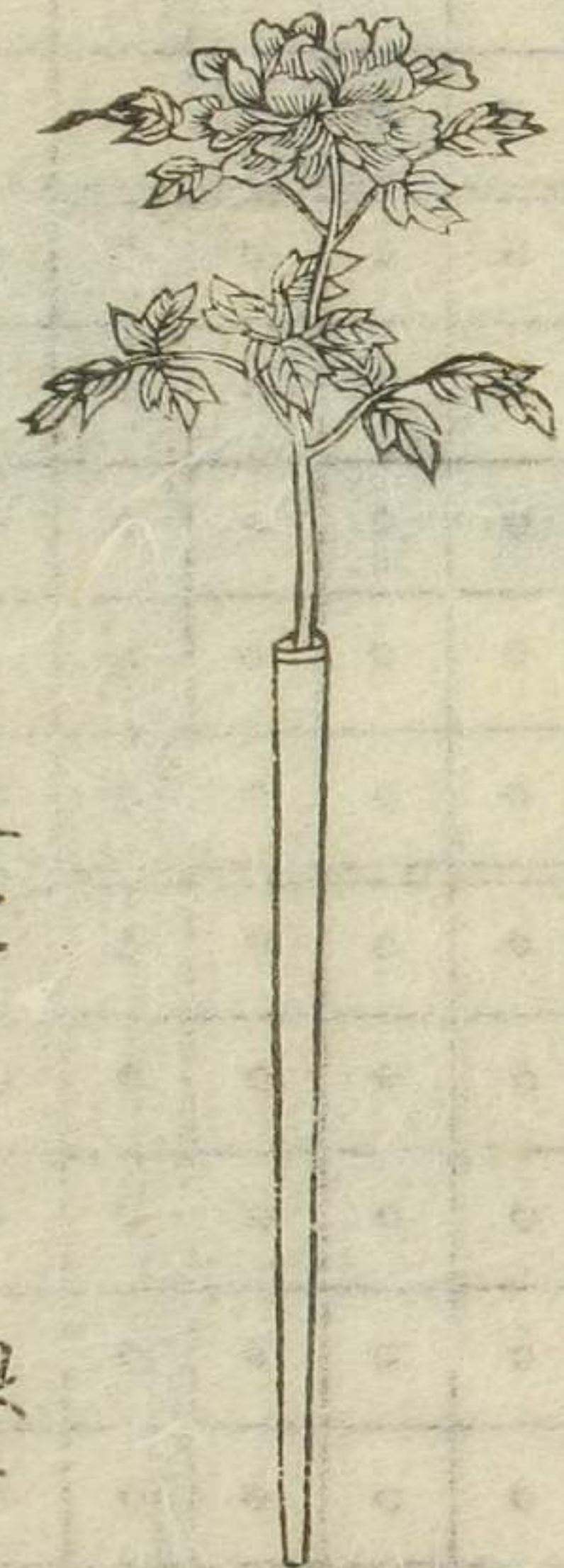
色紙 長二寸二分 幅一分



蝶二十
金銀

花十本

○ 隨蝶香之物圖



金十



銀十

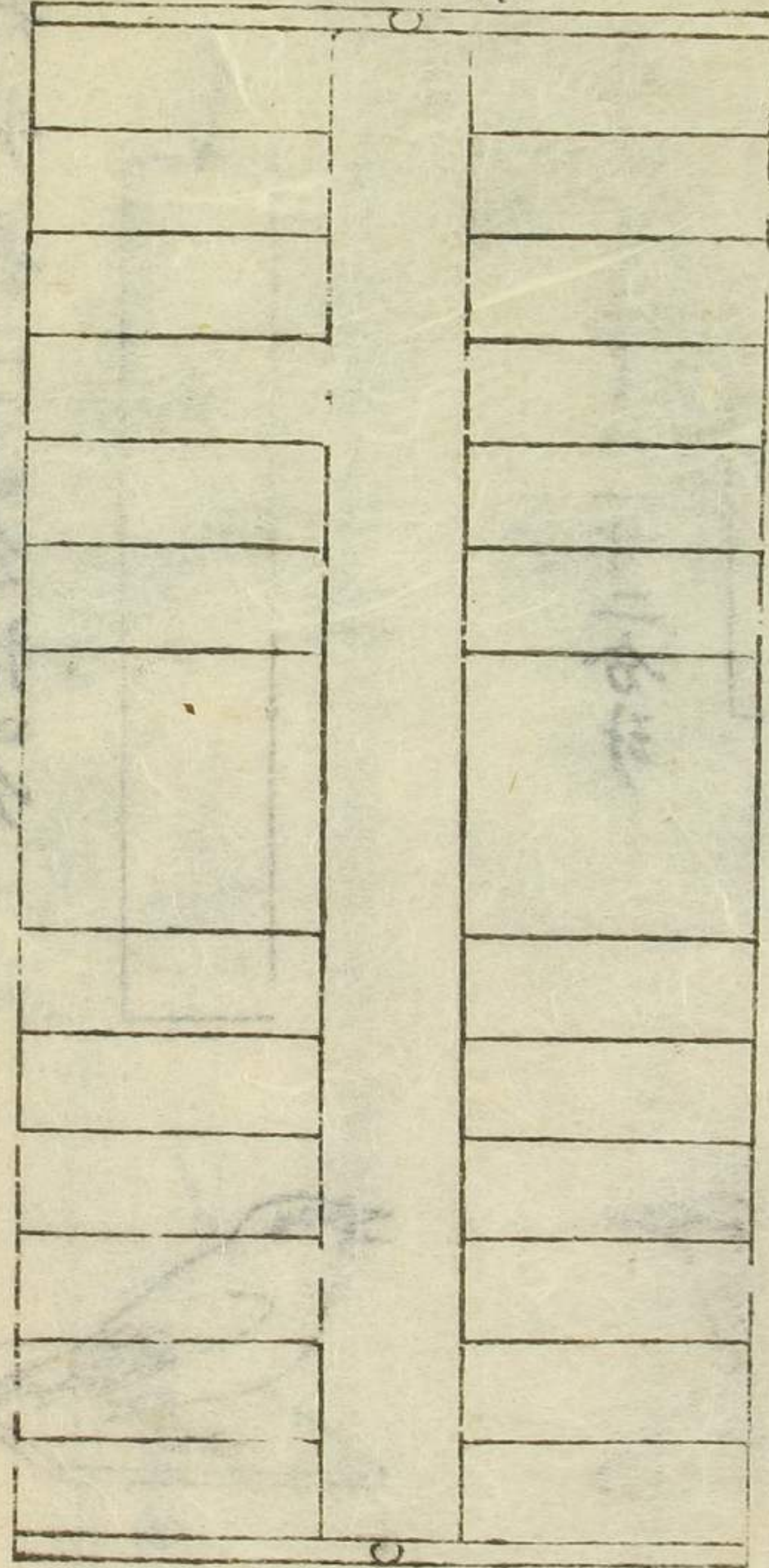
梅紅右

盤長九寸六分横二寸七分

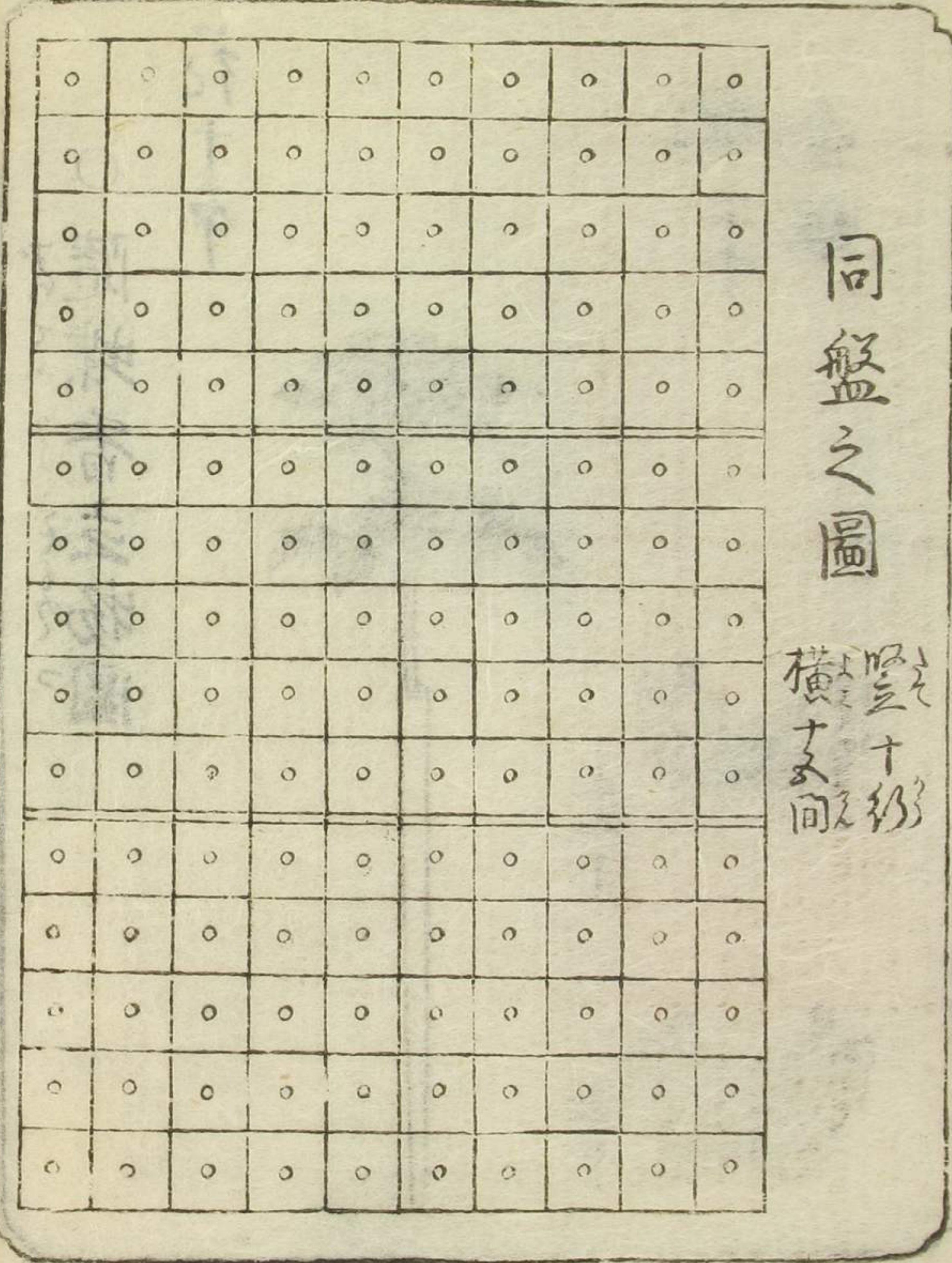
一間のり六分づ

同盤之圖

豎漆一筋
横十二間中務負場



梅白花



香道秘本

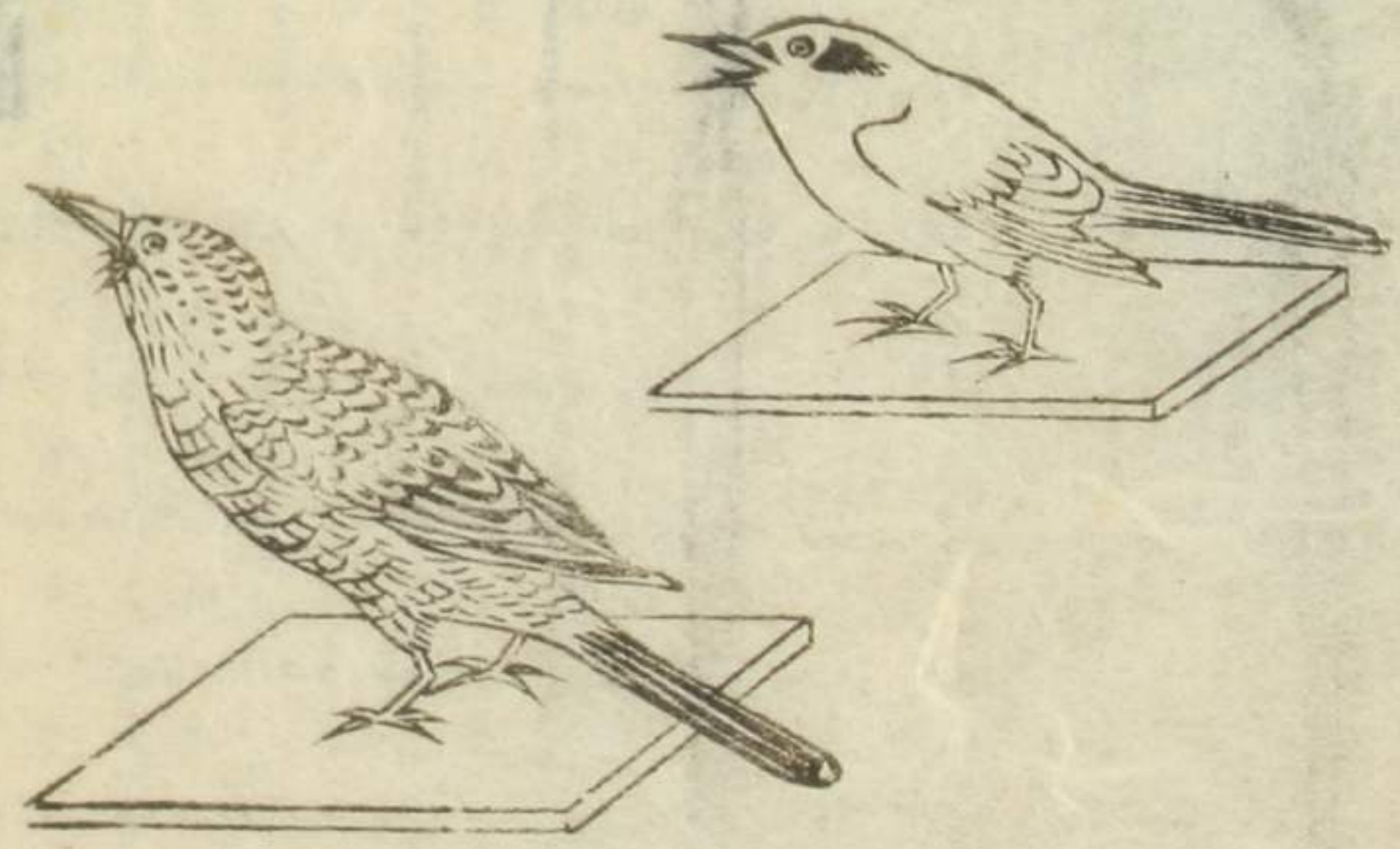
十一

鶯うぐいすつらう
作物

十二羽

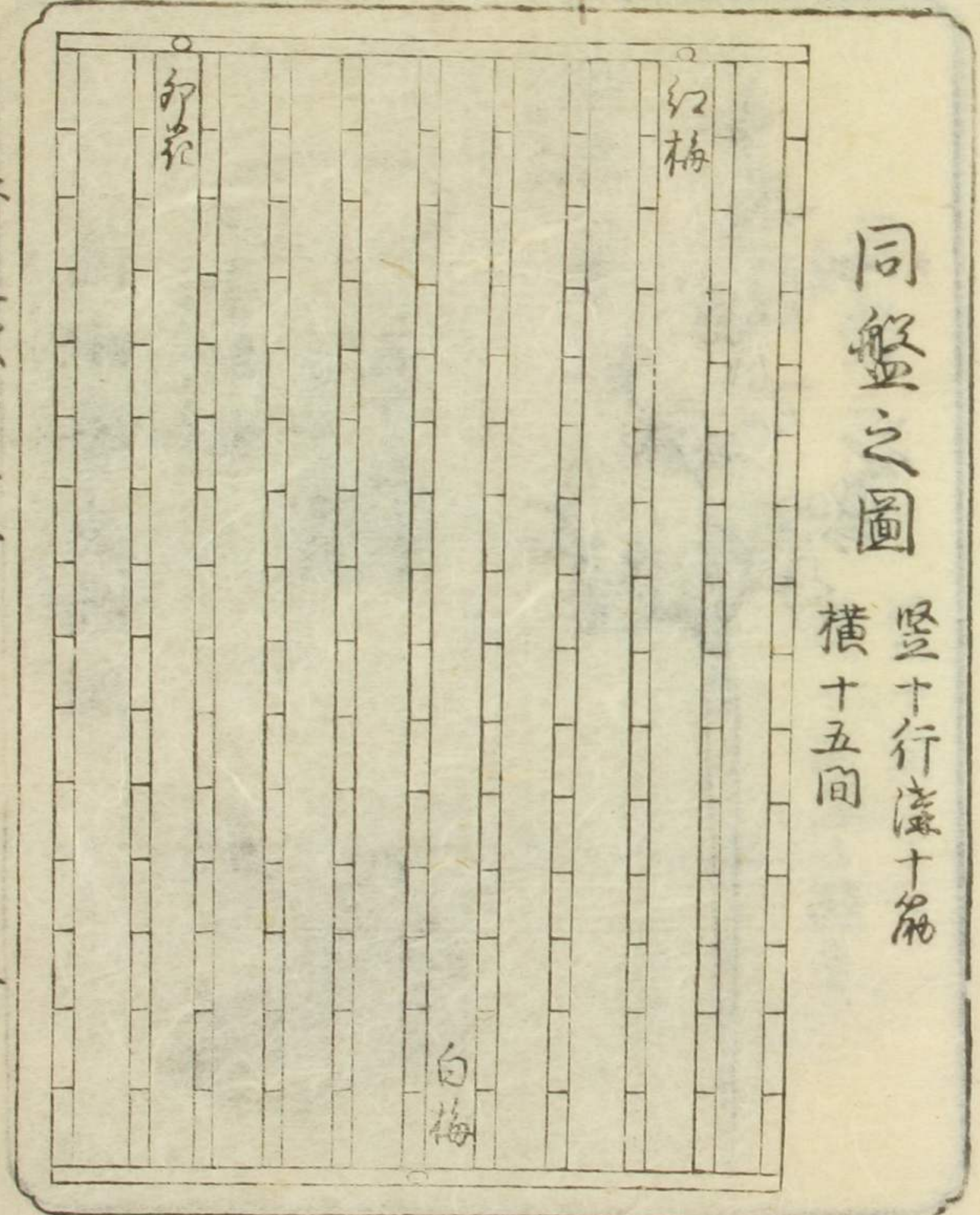
鶺鴒けいぎょう
作物

十羽



同盤之圖

豎十行 横十能
横十五間



紅梅

白梅

白梅



同盤之圖

縦十間
横十二間中瀨有

香道大

七

桃花一本



○曲水香之物圖

金銀盃

十枚九七分程
土器うつはとせ

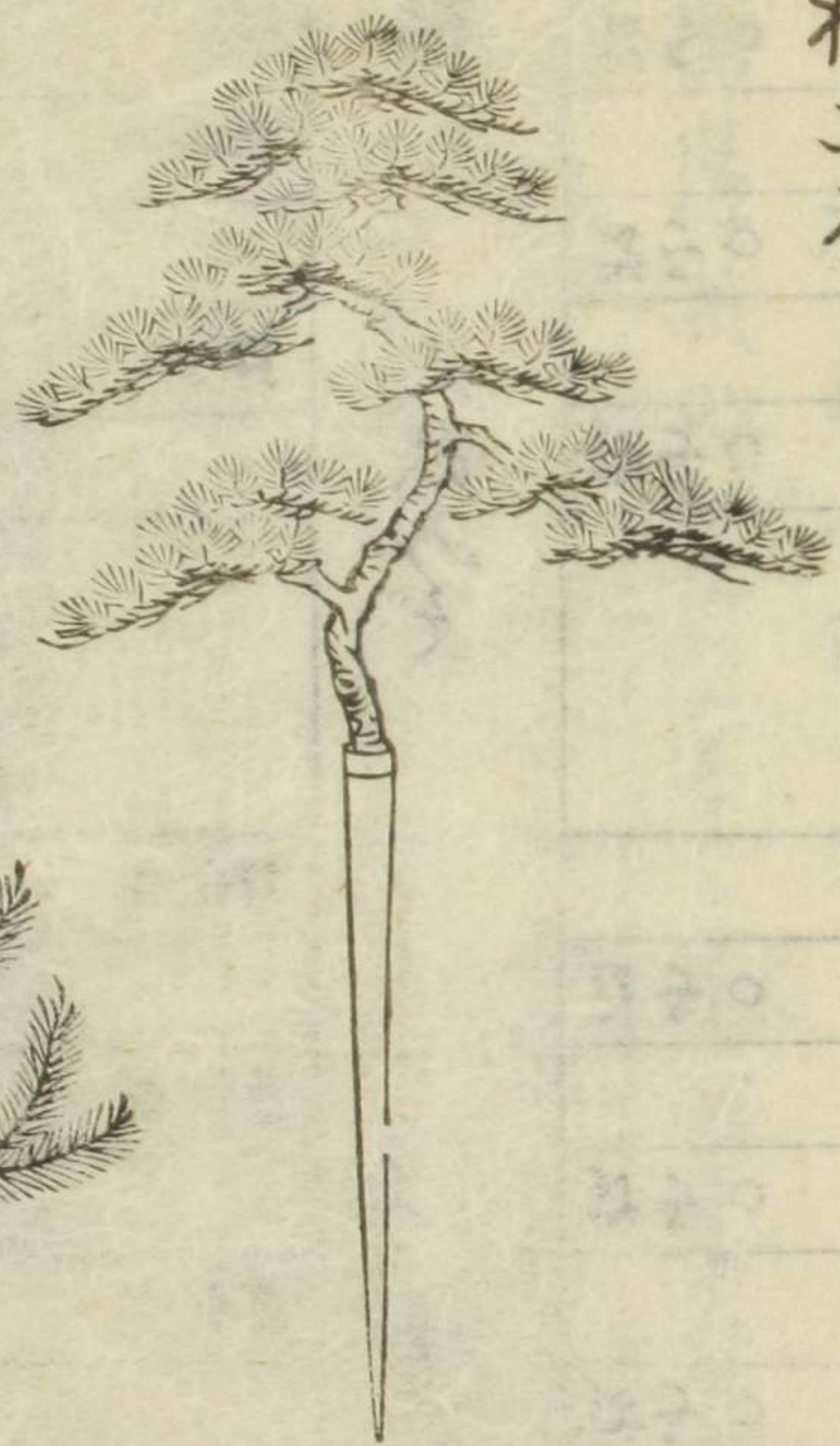
岩一ツ

高十五間
横十二間中瀨有

香道大

六

大松二本



小松十二本



香道火乃上

二十

○子日香立物圖 孫のい

直衣烏帽子 まゝし
人形ニツ あがし
蒲黄茶色 あぐさ



同前

香道

香道火乃上

二十

京東洞院四条上二町目西側

金物細工人

野村藤右衛門

京寺町通竹屋町下町東側

木細工類

唐木屋勘兵衛

京之文入神町

金物細工人

鋸屋四郎兵衛

京押小路通間之町東入南側

人形細工人

桔梗屋庄左衛門

京河原町姉小路西南角

同

人形屋幸助

香道秋農光上終

